



映画・伊藤千代子運動ニュースから掲載  
 (2/2 嵐圭史氏出演申し出を歓迎する緊急集会)

不屈

「不屈」

No.562 付録  
 高知版No.407  
 2021.4.15

---

治安維持法犠牲者  
 国家賠償要求同盟  
 高知県本部

発行責任者  
 森岡 幸一  
 TEL・FAX  
 088-841-0072

### 3・11 中央三役会議決議

当面する活動・組織方針として

の青年部と共同で、青年議

① 2万の会員の達成のために  
 全力を傾ける。

員・候補者、民青幹部活動家  
 などへの入会を呼びかけ、会  
 員拡大をする。  
 「入会のおさそい」のリーフ  
 レットを作成

② 国会請願署名の各組織の自主  
 目標のために全力を傾ける。

ii 中央女性部も、女性議員・候  
 補者、女性運動活動家への入  
 会を呼びかけ拡大する。

③ 役員・会員の相互の連絡・意  
 思確認を強める。

iii 女性部は、各ブロックの女性  
 常任理事、全国理事などから  
 世話人を決めて相互の交流  
 を進めて、女性部確立・活性  
 化の取り組みを追及する。

④ 中央三役の意思統一と連携の  
 強化・・・ズーム会議

『コロナ禍に打ち勝ち衆議院  
 総選挙等勝利のための同盟躍  
 進期間』を提起する。(4月1  
 日から5月31日) 中央本部  
 に「推進本部」を置く。

⑤ ブロック別の中央常任理事・  
 中央理事・会長・事務局長に  
 よる意思統一・連携と各プロ  
 ックごとの課題達成の活動の  
 強化

⑥ ⑤の遂行のための会長・中央  
 副会長・三役・中央事務局の  
 役割(活動経費の実費の本部  
 負担)必要なオルグをする。

⑦ 青年部、女性部の活動の全国  
 化、活性化

i 青年部は、山添議員(東京)  
 をはじめ、東京、奈良、高知

① 会員拡大・国会請願目標の自  
 主目標達成。

②選挙活動の支持拡大と会員拡大・国会請願署名獲得を結びつける。

衆議院選挙における小選挙区の野党統一候補とともに比例区の勝利のためのブロック内の連携を図る。

議員・候補者の会員から「同盟運動への激励文」をもらって、会員拡大と請願署名活動の資料にする。会員候補者には、同盟中央と各関連組織から「檄文」を交付する。

③会員・請願署名の自主目標達成と選挙勝利を中心に据えた財政活動として、会費の早期納入、特別カンパその他、活動強化を進める。

中央本部三役のオルグ活動、ブロック担当者のオルグ活動、宣伝費など、支出は増えざるを得ない。

ブロックとしての活動には、中央の財政援助を考える。以上

故 猪野 睦氏 作品

埋もれてきた群像より

「田園の花」 (二)

十五年ほど前に明神健太郎をたずねたとき『田園の花』復刊前後のことときいた。明神健太郎は佐川町の花畑という集落の一軒家にすんでいた。家のうしろに雑木林があり、前を土讃線が走っていた。日当たりのいい清閑な花畑という地名が、いかにも明神健太郎の住むにふさわしいところに思えた。

明神健太郎の話によると、かつて青年団文芸誌『田園の花』をやっていた明神健太郎のところへ皆が復刊相談にやってきました。五年休刊していた。田村乙彦、藤原運、氏原利秋、藪田忠夫、小田惣水らがあつまり、やがてそこがアジトになった。編集会議のようなものもいくどか聞かれた。

復刊『田園の花』には明神健太郎もペンネーム麦之助で短歌

をかいた。『田園の花』創刊号には、「田園の花社」第一回詠草二月十日夜於明神健太郎方とあり、五首の短歌が載っている。

夜の汽車に街の工場を追はるてうふるさとの娘とのりあひにけり

表之助  
すり切れたデンペン靴の跡残し人夫が干鰯ぬすむ吹雪夜(樺太で)

西森輝生  
よなべしつゝしみじみ語るこの頃の深さ不景気のそのもとをこり

永田徹  
赤いしぐなるだよってこい同志よ たゝかひのうたをうたつて歩まう

小田窓水  
などであるが麦之助は明神健太郎、西森輝生は藤原運、のちのサガレン詩をかく広海大治であり、永田徹は田村乙彦、小田惣水は小田惣水だった。明神健太

郎はこのほか麦之助で十一首を寄せた。

名古屋市の工場にはたらき北陸の男を追ひし義姉をおもへり

などもそのなかにはあった。いずれも現実をとらえたりリアルな短歌だった。詠草で文学をかたり社会の現実を語りあう若い青年像が伝わってくるような作品だった。

そのうち明神健太郎宅はアジトになった。おわり頃には村外のものも勝手に出入りするようになる。警察もくる。中央からの印刷物も送られてきた。そのなかにもうひとつ別人あての封筒が入っている。あけるわけにはいかない。それがたまっていく。いつのまにか明神宅はアドにもなっていた。つまりアドレス、郵便物送付先だった。そのうち田村乙彦は連れていかれるし、明神健太郎は妻子もあって、皆にひいて貰ったと話していた。

田村も連れていかれるしというのは十月五日の検束だった。『田園の花』をはじめ半年以上たっていたが、雑誌をつぶされた田村乙彦、氏原利秋、藪田忠夫らは、七月には全農全会派の全国につながる農民運動組織をはじめていた。九月二十一日に全農全評斗賀野支部結成準備会をつくり、十月に小作農民中心の高北農民組合を結成、その前の十月五日に田村乙彦は佐川署へ検束された。

明神健太郎のいう村外のものというのは農民組合関係者だったろう。『田園の花』の二号がでたあと、一斉検挙で高知の作家同盟はつぶされ、高北地区に重みがかかった。眼をつけられていた田村乙彦をさけて明神健太郎宅が中央の刊行物の送り先になっていたか。

明神健太郎にきいたもうひとつの話は田村宇吉と田村三吉の演劇運動だった。医者の手術の芝居だった。医者が手術をしていくと腹のなかから戦争の道

戦争のころ高知で

藤原 義一

具がでてくる。それを取り除いていく芝居で、学校、村が大騒ぎになり途中で中止させられた。二人とも『田園の花』の主要メンバーで、田村三吉は二号の編集発行印刷人だった。反戦演劇も村でやってのけていた。

植木枝盛さんの「東洋大日本国国憲案」

自由民権運動の理論的指導者・植木枝盛さん(出生地・土佐国。1857年1月20日〜1892年1月23日)が「東洋大日本国国憲案」を書いていきます。

1880年11月、国会期成同盟の大会で参加各組織が憲法見込案を持ち寄ることが

決定され、同盟において指導的役割を担っていた立志社も憲法の草案作成を開始します。この「国憲案」では、次のことをうたっています。

- ・ 軍事および外交の総裁として皇帝を位置付けています。
- ・ 地方自治を尊重してアメリカやスイスに倣う連邦制国家を構想しています。
- ・ 立法権を全国民に属するものとし、国会中心の統治体制構築を提案しています。
- ・ 人民の自由権利をきめ細かく保障し、これを担保するための抵抗権・革命権を認めています。

「大日本帝国憲法」は1889年2月発布後、10月31日、文部省が謄本を作り、全国の学校に頒布し、その趣旨の貫徹に努めるよう訓令します。

女性部の広場

高齢者医療費2割負担・絶対反対

国民健康保険は昭和16年、第二次世界大戦への準備?戦費が不足し、これを補うため制度化、徴収されたと聞く。戦後、国の補助が始まり社会保障的な性格に変わった。昭和28年、この国民健康保険の恩恵から外れていた自営業、農漁村の人たちに広げようと、当時の市長が「皆保険」を打ち出して再選に勝利。「皆保険」政策を実行しようとした。が、高知市医師会長がこの保険診療を拒否した。そこで市長は「それでは自前で診療する」と、別に潮江に分院(31年開院44年統合廃院)。さらに、下知、長浜その他に診療所建設を計画して対抗した。

当時、日本医師会長が来高した折、知事も入れた斡旋で市長と医師会長が折れ合い、国保診

療が受け入れられた。市内にインフルエンザが流行しており市民からも国民健康保険は受け入れられた。長野県沢内村の村長が「高齢者の医療費無料化」を提唱して開始、全国へ広まった。革新自治体が全国的に広がった時期と重なる。「憲法を生かし平和で国民の命を、健康を大切にしたい国政」を野党革新勢力の力が施行させた。

当時の話、病院待合室は「サロンのように賑やか」との悪意の報道も。「あら、あの人、見えんねえ?」「うん、具合が悪くて今日はお休みや」とアラアラア、である。しかし、高齢者が基礎疾患に負けず、元気で明るく、健康管理と交流を楽しむ病院は悪くはない。現在提起されている2割負担増は、現役世代負担軽減を言う菅義偉首相。その実態は、現役負担の軽減は月額、僅か30円。国や自治体の負担軽減額は980億円!老人医療の有料化開始の83年には国庫負担は45%だった。後期

高齢者医療制度導入後は35%に引き下げられた。

この国負担割合を元の45%に戻せば2割負担は解消されるだろう。更に、防衛費の予算は年々増額され、5兆円を超した。原発の廃炉費も天井知らずの増額、アメリカ力武器の爆買い。平和憲法に違反する政策ばかりが、国民の命を軽いものに押し下げている。「平和で健康で文化的な生活」には全く不要で命を脅かすものが多すぎる。

このコロナ禍真っ最中によくも「2割負担」を言えたものだ。菅政権は口では「国民のため」と繰り返し言っている。進める政策は「自分のため、自分たちのため」に終始している。

総選挙では野党共同が勝利!  
野党連合政権の樹立!  
菅政権は退陣願う!  
医療費2割負担は許さない!

高橋トシ

3月幹事会報告

☆同盟員

264名

1名退会

☆署名

個人署名 735筆

団体署名 9筆

☆専門部会

部会報告はありません。

☆財政

☆女性部・青年部

☆その他

胡摩崎さんから映画「時の行路」チケット協力の訴えがありました。

5月幹事会 草の家

5月13日(木)

14時〜

個人署名集計

南	142
北	215
南国	56
山田	46
その他	276
735	

団体署名集計

南	
北	
南国	
山田	
その他	6
6	

伊藤千代子製作上映ニュース

監督・桂荘三郎さんから本年10月クラシックインの製作目標を掲げその完成の実現をはかり、全国上映運動を2022年春からスタートさせると報告がありました。

映画製作には多大な製作資金が必要です。会員の皆様に協力をお願いいたします。